

第 19 回建築の自動化技術シンポジウム

主催：社団法人 日本建築学会 材料施工委員会 建築生産運営委員会 CA 技術小委員会

日時：2012 年 1 月 27 日（金）9:00～17:00

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

本シンポジウムは、建築生産分野における自動化や情報化の研究の発展を図るとともに、広範囲な分野の研究者や実務者の交流の場を提供することを目的としている。依然として建設市場は厳しい状況ではあるが少子高齢化は着実に進行しており、長足の進歩を遂げているロボット技術や情報技術の建築生産への導入が期待されている。本年は、東日本大震災で注目されている高放射線下の災害対応ロボットの実用化と課題について特別講演を予定している。

<プログラム>

- I. 開会の辞 9:00～9:10 星野春夫（竹中工務店）
- II. 研究発表：セッション1「自動化と情報化の融合」 (司会) 組田良則（フジタ）
- 1) IC タグの活用によるコンクリートのトレーサビリティ確保技術 9:10～9:35（発表 20分/質疑 5分） 角倉英明（国土交通省）
- 2) 建方工事の施工支援における三次元モデルの活用 9:35～10:10（発表 20分/質疑 5分） 吉田知洋（鹿島建設）
- 3) 集合住宅内装工事の動的スケジューリング 10:00～10:25（発表 20分/質疑 5分） 志手一哉（竹中工務店）
- 休憩 10:25～10:35
- III. 研究発表：セッション2「自動化システム・新工法機械」 (司会) 平林裕治（清水建設）
- 4) 超高層ビルの閉鎖型解体工法 10:35～11:00（発表 20分/質疑 5分） 市原英樹（大成建設）
- 5) ジャイロモーメントを利用した高出力吊荷旋回制御装置の開発
—超高層建物を対象とした装置の改良と現場適用— 11:00～11:25（発表 20分/質疑 5分） 井上文宏（大林組）
- 6) 構造物の迅速復旧を目的としたコンクリート柱補修装置の開発 11:25～11:50（発表 20分/質疑 5分） 中村 聡（東急建設）
- 7) 大型タワークレーン解体用小分解・可変構造式塔形クレーンの開発 11:50～12:15（発表 20分/質疑 5分） 田中良幸（竹中工務店）
- 昼食 12:15～13:10
- IV. 特別講演 (司会) 椎名国雄（東海大学）
災害対応ロボットの実用化と課題 13:10～14:10（60分） 小柳栄次（千葉工業大学）
- V. 海外動向報告
韓国の建築自動化技術の研究開発動向 14:10～15:00（50分） 前田純一郎（高麗大学）
- 休憩 15:00～15:10
- V. 研究発表：セッション3「ロボット化とセンサ技術」 (司会) 眞方山美穂（国総研）
- 8) 超高層集合住宅を対象とした垂直自走式外壁検査ロボットの開発 15:10～15:35（発表 20分/質疑 5分） 土井 暁（大林組）
- 9) 汎用パワーアシストスーツ（パワーローダーライト）の開発 15:35～16:00（発表 20分/質疑 5分） 城垣内 剛（アクティブリンク）
- 10) コンクリートの打設状況をリアルタイムにビジュアル化
—静電容量の変化からコンクリートの打込み高さを連続的に検知する手法を開発— 16:00～16:25（発表 20分/質疑 5分） 藤倉裕介（フジタ）
- 11) エレベータシャフトアスベスト封じ込め機械への形状計測センサの応用 16:25～16:50（発表 20分/質疑 5分） 深瀬勇太郎（清水建設）
- VI. 閉会の辞 16:50～17:00 蔡 成浩（鹿島建設）

参加費：会員 3,500 円，会員外 4,500 円，学生 1,500 円（資料代を含む，当日シンポジウム会場でお支払いください）

定員：シンポジウム 100 名（申し込み先着順）

申込方法：催し物名称，参加費種別，会員番号，氏名，勤務先・所属，電話番号，E-mail アドレスを明記の上，E-mail で建築学会事務局担当宛てにお申し込みください。

申込問合せ：日本建築学会事務局 研究事業グループ 一ノ瀬 TEL03-3456-2051 E-mail : ichinose@aij.or.jp